

宇都宮市立瑞穂台小学校 第4学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「家で自分で計画を立てて勉強をしている。」という質問項目に肯定的回答をした児童の割合は概ね7割程度であり、市の平均と同じくらいである。その他家庭学習に関する質問項目についても7割程度の児童が宿題や復習などの学習に取り組んでいるといえる。また、家庭学習の時間についても75%の児童が30分以上2時間未満の勉強をしており、家庭学習の意識は高いといえる。

●「1か月に、何冊くらいの本を読みますか。」の質問には「11冊以上」と回答した児童が25.0%で市の平均とほぼ同じになっている。一方で、1冊も読まない児童が5.0%おり読書に親しむ機会を増やしていく必要がある。

○「勉強していておもしろい、楽しいと思うことがある。」他「疑問や不思議に思うことは分かるまで調べたい。」などの質問項目の肯定的回答割合は、市や県の平均より高くほぼ90%に達している。学習に対する関心があり学習が将来の仕事や生活のために役に立つという意識を持つ児童が多いといえる。

○朝食・睡眠については、市の平均かそれ以上に肯定的回答率が高い。1日当たりのゲームの時間についても、1時間より少ない児童が約40%で市の平均より若干多いという傾向もみられる。基本的な家庭生活は安定していると推測される。

●「自分にはよいところがあると思う。」という質問項目には、86%の児童が肯定的回答をしているが、100%を目指したいところである。

●「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している。」「自分の行動や発言に自信を持っている。」の質問項目には、それぞれ81%・67%の児童が肯定的回答をしており、市の平均並みよりは若干多いがさらに肯定的な意識を育てたいところである。